

資料3

東区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021～2026) 令和6年度分実績一覧

【基本理念】

「地域の人々とのふれあいや支えあいのなかで、
みんなの顔が見え、元氣で安心して暮らせるまち」

基本目標1 支えあい、助けあい、つながりあうまちづくり

◎地域で暮らす誰もが安心して暮らすために、人と人、人と社会がつながり、支えあい、助けあうまちづくりを進めます。

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(1) 地域で気軽に助けあえる関係をつくりましょう										
①	見守り訪問による高齢者の実態把握	第三者の目が届いていないと思われる高齢者を対象に、見守り訪問を実施して生活の様子を確認するとともに、状況に応じてふさわしいサービスへの誘導を図る。	健康福祉課	訪問件数	継続	7,507件	7,430件	8,908件	75才以上の高齢者数の増加により、一次訪問対象者数は増加したが、二次訪問はR5とほぼ同様の訪問件数（R5：49件、R6：48件）で問題なし世帯が99.8%となっている。	
②	地域活動補助金【地域福祉・地域計画策定】	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOが行う地域課題の解決を図る活動などに対して補助金を交付する。	地域課	件数	継続	6件	7件	8件	高齢者の健康増進や世代間交流等の活動が継続的に行われている。	
③	歩道除雪奨励金交付制度	市管理道路の歩道除雪において、市民団体が自主的に実施する歩道除雪に対し奨励金を交付する。	建設課	回数	継続	133回	51回	81回	制度の活用が進められる一方で、高齢化による担い手不足の声があがっている。	
④	小地域福祉活動（支会活動）の推進	東区社会福祉協議会支会による小地域での福祉活動の充実を図るため、支会活動助成を行う。	区社協	実施団体数	継続	12地区	12地区	12地区	例年通り実施した。会員会費の減少により助成額が減少しており、社協活動の理解促進と会員会費の増加が課題である。	
⑤	地区単位での地域福祉懇談会の開催	各地区ごとに懇談会を開催し、地域福祉活動計画の地区目標の推進を図る。	区社協	実施回数	継続・充実	12地区	12地区	12地区	各地区で地域課題や施策、地域福祉活動計画の進捗を確認・共有するための、地域福祉座談会により実施。	
⑥	地域福祉推進フォーラムの開催	「東区地域福祉計画・地域福祉活動計画（愛称：東区地域心れいプラン）」の推進のため、東区地域福祉推進フォーラムを開催する。	区社協	参加者数	継続	1回 参加者数 133人	開催なし	1回 参加者数 300人	東区内の小地域福祉活動者・団体・企業のエンパワメントを目指し、「スーパー・ササンゴ・マシンのナマジバフ」なる、エンターテインメントと社会貢献活動の紹介を組み合わせたイベントを会員大会として実施。福祉領域外の隣接領域の方々の参加が進むよう内容を工夫した。	
⑦	CSWによる生活課題への相談支援	個別課題から地域課題へつなげ、地域住民とともに、生活課題の解決を図る。	区社協		継続	精神の不調のためごみ屋敷状態になっている世帯への相談支援など	母の生活能力・経済管理能力の低さから、ごみ屋敷、ライフラインが度々止まる環境で生活する母子世帯への相談支援など	不登校やごみ屋敷状態等の複数の課題を抱えた世帯の支援など	例年通り実施した。個別課題から地域課題への展開、地域に対する主体形成に向けたアプローチをさらに推進する必要がある。	

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(2) 地域活動・ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みをつくりましょう										
①	ボランティア・市民活動センターの運営	ボランティアに関する相談を受け付け、活動先の紹介やボランティアの紹介等を行う。	区社協	相談件数	継続	131件	131件	82件	ボランティア・市民活動に関する連絡、相談、支援の窓口として活動先の紹介などの情報提供を実施。相談受付窓口の周知を継続実施する。	
②	元気力アップセンター事業	65歳以上の高齢者が介護施設などでのサポート活動を通じて、いきいきとした地域社会づくりに貢献するとともに、活動する人自身の介護予防の推進を図る。	区社協	受入協力機関数・登録者数	増	82施設 553人	84施設 570人	86施設 570人	新型コロナウイルスの影響で活動受け入れを休止している施設が多い。	
③	認知症センター養成講座	企業や住民、行政からの依頼により、認知症の方への支援と理解を深めるための講座を開催する。	区社協	実施回数・参加人数	継続	開講なし	2回 35名	開講なし	当会による直接実施ではなく、介護福祉士会等専門団体への繋ぎを実施した。	
④	ボランティア・市民活動育成事業 (ボランティア養成講座)	ボランティア意識の醸成を図りながら、ボランティア・市民活動への参加を促し、活動の活性化につなげていくため、地域住民、企業等を対象に各種研修会や講座を開催する。	区社協	講座数・参加者数	増	・ボランティアチャレンジ講座 4回 96人 ・ボランティアサロン 22回 参加者 675人 ・出前講座、きっかけづくり講座 4回 参加者 70人	・ボランティアきっかけづくり十車いす体験講座 1回、11名 ・ボランティアサロン 11回、226名	例年どおり実施した。各地区的地域住民や企業等、より身近な範囲で開催できるよう、講座内容の工夫、開催の働きかけを推進する。		
⑤	学生向けボランティア講座	夏休み期間を利用し、学生がボランティア活動に関心をもつ機会をつくり、今後のボランティア活動につなげる。	区社協	参加者数	継続	代替事業(ボランティア体験) 3回 59人	代替事業(ボランティア体験) 11回 25人	代替事業(ボランティア体験) 2回 27人	夏休み期間での受け入れを早い時期に施設等へ依頼することが必要である。	
⑥	ボランティアフェスティバル	ボランティアグループ、団体の活動内容を紹介する機会と情報交換の場をつくるとともに、ボランティア活動を知り、ボランティア活動のきっかけをつくることを目的に開催する。	区社協	参加団体	縮小・変更	未実施	未実施	未実施		
⑦	ボランティアの活動支援	ボランティア活動を行っている方々の情報交換の場を設け、活動における悩みの解消やさらなるボランティア活動の推進を図る。	区社協	実施回数・参加人数	継続	ボランティア登録 46団体 1,474人 個人 39人 ボランティア保険加入数 活動保険 871人 行事用保険 1,072件	ボランティア登録 46団体 854人 個人 34人 ボランティア保険加入数 活動保険 797人 行事用保険 1,205件	ボランティア登録 42団体 704人 個人 22人 ボランティア保険加入数 活動保険 779人 行事用保険 1,120件	例年通り実施した。安心してボランティア・市民活動を行ってもらうため、ボランティア・市民活動センターの周知を継続実施する。	

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(3)地域で子育て支援ができる仕組みをつくりましょう										
①	わいわいひろば 子育て支援事業	東区プラザ内「わいわいひろば」で、親子・地域・世代間交流イベントを実施する。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	179回 2,721人	205回 4,464人	183回 4,276人	父親が参加しやすい土日開催のイベントを増やし、地域・世代間交流のイベントを実施した。	
②	NPプログラム	0歳から5歳までの子どもをもつ親を対象に、それぞれに抱えている悩みや関心のあることをグループで出し合って話し合いながら、自分にあった子育ての仕方を学ぶ。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	3回 19人	3回 22人	3回 23人	子育て中の人たちとお互いの悩みや関心などを話しあいながら、自分にあった子育てを学びあう機会	
③	BPプログラム	初めて赤ちゃんを育てている母親を対象に、「子育て仲間づくり」、「0歳児の育児に必要な少し先を見越した基礎知識の学習」、「親子の絆づくり」を支援する。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	8回 58組	7回 63組	10回 80組	令和7年度からはBPプログラムは廃止し、公民館と共に乳児期家庭教育学級として年2回の開催となる。	
④	親子ふれあい広場 子育て事業	未就園児などを対象に、親子あそび指導者による親子遊びを行い、親子のふれあう機会・場をつくる。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	7~12カ月: 11回 363人 1~3歳: 12回 536人	7~12カ月: 11回 552人 1~3歳: 12回 536人	7~12カ月: 11回 317人 1~3歳: 12回 418人	親子のふれあい方を実体験により習得できる機会を提供できた。	
⑤	CAPプログラム	子どもが暴力から自らを守るための知識や技能を身につける人権教育を実施する。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	6回 39人	6回 55人	2回 66人	東区内、2か所の保育園で保護者、職員、こどもを対象にプログラムを実施した。	
⑥	児童虐待防止研修会	子ども支援関係機関などを対象に、虐待防止を強化するための研修会を開催する。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	2回 45人	2回 126人	5回 190人	児童虐待の早期発見・予防に向け区内関係機関を対象に研修を実施した。	
⑦	こんにちは赤ちゃん訪問事業	生後4か月になるまでの全ての乳児と産婦を対象に訪問を実施し、保健指導や育児情報の提供を行い、地域における育児支援につなげる。	健康福祉課	訪問件数	継続	実人数: 1,937人 延べ件数: 2,299件	実人数: 1,982人 延べ件数: 2,522件	実人数: 1,881人 延べ件数: 2,494件	生後4か月になるまでの乳児と産婦に対し全数訪問できている。支援者不足、育児不安等で頻回訪問により支援を実施している。	
⑧	育児相談	育児全般又は育児に関する悩みや不安について個別相談を行うことにより、子育てを支援する。	健康福祉課	相談件数	継続	実人数 245人 延べ件数 472件	実人数: 233人 延べ件数: 482件	実人数: 220人 延べ件数: 408件		
⑨	こども創作活動館	文化活動や遊びを通して、創造力豊かで健全な子どもの育成を図る。	健康福祉課	利用者数	継続	30,403人	32,560人	30,962人		
⑩	わいわいひろば	小さな子どもを対象とした、子育て支援を目的とした居場所で、親子遊びなどの催しのほか、子育て相談、短時間保育も行う。	健康福祉課	利用者数	継続	32,066人	40,664人	40,777人		
⑪	い～てらす	「遊び」・「つながる」・「楽しむ」をコンセプトに、のびのびと遊べる場・交流と育児支援の提供の場・多世代が居心地よく楽しめる場を提供する。	健康福祉課	利用者数	継続	120,414人	136,485人	129,182人		
⑫	東区2km子育てトライアングル魅力発信	主要子育て支援施設「い～てらす」、「こども創作活動館」、「わいわいひろば」の3施設の効果的な情報・魅力発信の機会として、「東区こどもまつり」を開催する。	健康福祉課	参加者数	継続	—	1,000人	1,000人	休日、東区プラザエントランス、ホールでおまつりブース、ファミリーコンサート他を実施した	
⑬	子育てサロン・サークル活動支援	子育て中の親子の不安・ストレス解消を図り、情報交換、仲間づくりの場の運営を支援するため助成を行う。	区社協	助成団体数	継続・廃止	子育てサロン 8か所	子育てサロン 2か所	子育てサロン 3か所	こども無料塾という新しい形態の活動が開始。多様なこどもの居場所に対する支援を推進する。	
⑭	子育てボランティアの育成	子育て支援に携わるボランティアの養成を行う。	区社協	回数・参加者数	継続	・ボランティアチャレンジ講座 4回 96人	開催なし	開催なし		
⑮	他団体と連携した子育て支援講座	子育て支援に携わるボランティアの養成・活動支援を行う。	区社協	参加者数	継続	・ボランティアチャレンジ講座 4回 96人	開催なし	開催なし		
⑯	子ども食堂ネットワーク事業	食を通して、子どもたちの生きる力を育むことを目的に、温かい食事と安心できる居場所を提供する「子ども食堂」の立ち上げ・運営支援を行う。	区社協	回数・参加団体	継続	子ども食堂連絡会議の開催 2回 参加者47人	子ども食堂ネットワーク会議の開催 1回 参加者11名	子ども食堂ネットワーク会議の開催 1回 参加者20名	情報交換では障害がある人の関わりをテーマとした。新規立ち上げの相談も2件あり、着実に活動が浸透してきている。さらなる充実を図る。	

基本目標2 健康で住みやすいまちづくり

◎いつまでも元気にいきいきと暮らしていくことができるよう、健康づくり・生きがいづくりに取り組むとともに、誰にもやさしい生活環境づくりを推進します。

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(1) 心身ともに健康で生きがいを持った生活を送りましょう										
①	各種がん検診	疾病の早期発見・治療のため、各種がん検診を実施する。	健康福祉課	受診率	継続	胃23.8% 乳19.6% 大腸24.5% 子宮 21.7% 肺11.5%	胃23.3% 乳18.1% 大腸24.4% 子宮 21.3% 肺11.5%	(集計中)		
②	特定健康診査	メタボリックシンドロームの該当者や予備群をいちはやく見つけられる健診を行う。	健康福祉課	受診率	継続	27.19% (3月5日報告分)	27.22% (3月5日報告分)	27.80% (3月5日報告分)		
③	健康相談	保健師、栄養士等により、健康に関する個別相談に応じ、必要な相談・助言を行う。	健康福祉課	回数・延人数	継続	24回 (3会場73人)	24回 (3会場68人)	24回 (3会場71人)		
④	特定保健指導	特定健康診査でメタボリックシンドロームの該当者やその予備群と判定された人などに、生活習慣を改善するための指導を行う。	健康福祉課	回数・延人数	継続	24回 (2会場) 61人	24回 (2会場) 42人	24回 (2会場) 69人		
⑤	依頼健康教育	健康づくりや生活習慣病の予防、また歯の健康を守るための日常生活上の心得や食生活のあり方等について、保健師、栄養士などによる講習会を開催する。	健康福祉課	回数・延人数	継続	35回 479人	35回 598人	42回 697人	お茶の間、コミュニティ協議会からの依頼が増加している。	
⑥	栄養・運動・休養をテーマにした講習会・講演会の開催	健康寿命の延伸を目的に、正しい健康知識を普及啓発するための講習会やコミュニティ協議会などの地域単位でのウォーキング等の運動体験講座を開催する。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	【講習会・講演会】 6回 90人 【ウォーキング・介護予防自主グループ支援】 15回 179人	【講習会・講演会】 6回 72人 【ウォーキング・介護予防自主グループ支援】 13回 141人	【講習会・講演会】 3回 109人 【ウォーキング・介護予防自主グループ支援】 9回 184人	【講習会・講演会】血糖値ダウンセミナーは3回2コースから1コースに変更して実施した。 【ウォーキング・介護予防自主グループ支援】ウォーキング自主グループへは各グループへの支援回数を減らし、全体を対象にした研修会を実施した。	
⑦	介護予防教室や認知症予防教室の開催	介護などが必要となるおそれのある人に対し、運動器・口腔機能向上、栄養改善の複合型教室や脳活性化のための健康教室を開催する。	健康福祉課	回数・延べ参加者数	継続	【複合型教室】 143回 1,102人 【介護予防教室等】 20回 314人	【複合型教室】 143回 1,140人 【介護予防教室等】 14回 244人	【複合型教室】 131回 1,039人 【介護予防教室等】 15回 319人	1期シリバービア石山会場の申し込みが少なく未実施だった。	
⑧	食生活改善推進委員の育成	「食生活改善推進委員養成講座（健康栄養セミナー）」の修了生が、生涯における健康づくり活動を、食を通して推進する。	健康福祉課	推進委員数	継続	35人	30人	34人	令和5年度食生活改善推進ボランティア養成講座を実施し会員数が増加した。	
⑨	運動普及推進委員の育成	「運動ボランティア養成講座」の修了生が、健康づくりのための運動を広めるために活動する。	健康福祉課	推進委員数	継続	23人	21人	20人		
⑩	老人クラブ	高齢者が自主的に集まり、相互の親睦、教養の向上、健康の増進、地域社会との交流を図る。	健康福祉課	クラブ数・会員数	継続	34クラブ 1,299人	32クラブ 1,162人	32クラブ 1,190人		
⑪	「地域の茶の間」の立ち上げ・運営支援	地域に住む子どもから大人まで誰もが気軽に集まって過ごすことができる居場所「地域の茶の間」の普及を図るために助成を行う。	区社協	助成件数	継続	月1タイプ：53件 月2タイプ：8件 社協助成のみ：13件	月1タイプ：50件 月2タイプ：8件 社協助成のみ：13件	月1タイプ：50件 月2タイプ：7件 社協助成のみ：16件	地域の茶の間の新規立ち上げや、活動タイプの変更についての相談支援を実施。今後も継続する。	
⑫		地域に住む子どもから大人まで誰もが気軽に集まって過ごすことができる居場所「地域の茶の間」の普及を図るために助成を行う。	区社協 健康福祉課	助成件数	継続	週1タイプ：13件	週1タイプ：13件	週1タイプ：15件	新規立ち上げ：2件	
⑬		「地域の茶の間」の立ち上げ、運営を支援するため、情報提供や交流会、研修会等を行う。	区社協	参加者数	継続	地域の居場所勉強会 3回 117人	地域の居場所交流会 1回 93人	地域の居場所交流会 1回 93人	認知症の人も安心して参加できる場づくりをテーマに実施した。その時々のテーマを設定し継続実施していく。	
⑭	元気力アップサポーター事業<再掲>	65歳以上の高齢者が介護施設などでサポート活動を通じて、いきいきとした地域社会づくりに貢献するとともに、活動する人自身の介護予防の推進を図る。	区社協	受入協力機関数・登録者数	増	82施設 553人	84施設 570人	86施設 570人	新型コロナウイルスの影響で活動受け入れを休止している施設が多い。	

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(2) 安全で快適な生活環境をつくりましょう										
①	障がい者住宅リフォーム助成	重度の身体障がい者が自宅で安心して生活できるように、浴室やトイレ、階段などを改造する場合、費用の一部を助成する。	健康福祉課	件数	継続	8件	3件	2件		
②	高齢者住宅リフォーム助成	身体機能の低下した65歳以上のお年寄りが自宅で安心して生活できるように、浴室やトイレ、階段などを改造する場合、費用の一部を助成する。	健康福祉課	件数	継続	41件	26件	27件		
③	ごみのない美しい東区まちづくり事業	まちの美化と環境保全意識の一層の向上を図り、毎月最終日曜日をごみゼロの日として、身近なところを清掃するとともに、コミュニティ協議会単位で区内一斉清掃を実施する。	区民生活課	参加人数（実施か所）	継続	4,901人（104か所）	6,364人（112か所）	6,503人（118か所）	毎年の事業として浸透している。今後、事業が継続して続くよう広報・周知を行っていく。	
④	地域活動補助金【環境美化】	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOが行う地域課題の解決を図る活動などに対して補助金を交付する。	地域課	件数	継続	3件	3件	3件	継続的に花を植える活動等が行われている。	
⑤	校区交通安全推進協議会育成補助金	校区交通安全推進協議会が行う交通安全意識の高揚及び交通事故防止活動に係る事業費の一部を補助する。	総務課	件数	継続	12件	12件	12件	東区内の校区交通安全推進協議会からの補助金申請に基づき、審査のうえ交付している。本事業については実績報告において一定の成果が認められるので今後も継続していく必要性が認められる。	
⑥	高齢者や障がいのある人などの外出、移動のためのサービスの検討	高齢者や障がいのある方の外出を支援するため、車いすの貸し出しを行う。	区社協	延べ貸出件数	継続	86回	116回	86回	外出、通院、旅行等で車いすの使用を希望される方に無料で貸し出しを実施。	
⑦	障がいを理解するための取り組み	障がい者の社会参加、活躍の場づくりを支援し、障がい者への理解を図る。	区社協	件数	継続	・障がい者アート展示協力「ほうこくの壁」 ・福祉教育「総合学習」における体験学習 29回 ・特別支援学校生徒の体験学習受け入れ 1回	・障がい者アート展示協力「ほうこくの壁」 ・福祉教育「総合学習」における体験学習 35回 ・特別支援学校生徒の体験学習受け入れ 1回	・普段福祉に関心が薄い層へ、【表現】【アート】【障害】をテーマとした、トークセッションと映画上映会を実施 1回	福祉領域以外の住民や関連企業等、幅広いメソ領域を含めた、多様な主体や関係機関との重層的な連携・協働により推進していく。	

基本目標3 安心・安全に暮らせるまちづくり

◎地域全体で見守りの輪を広げ、災害、犯罪、虐待などの緊急時に助けあえるまちづくりを進めます。

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(1) 地域で見守りの輪を広げましょう										
①	見守り訪問による高齢者の実態把握<再掲>	第三者の目が届いていないと思われる高齢者を対象に、見守り訪問を実施して生活の様子を確認するとともに、状況に応じてふさわしいサービスへの誘導を図る。	健康福祉課	訪問件数	継続	7,507件	7,430件	8,908件	75才以上の高齢者数の増加により、一次訪問対象者数は増加したが、二次訪問はR5とほぼ同様の訪問件数(R5:49件、R6:48件)で問題なし世帯が99.8%となっている。	
②	認知症サポーター養成事業	認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する認知症サポーターを養成する。	健康福祉課	受講者数(累計)	廃止	221人	東区としての事業廃止	東区としての事業廃止		
③	民生委員・児童委員の確保	民生委員・児童委員は、社会奉仕の精神をもって、社会福祉の増進に努める民間の奉仕者で、厚生労働大臣の委嘱を受け各地域に配置されている。	福祉総務課 健康福祉課	配置率(欠員数)	100%(0人)	95.9%（欠員9名）	96.4%（欠員8名）	95.5%（欠員10名）		
④	友愛訪問事業（見守り活動）	見守りが必要な一人暮らし高齢者（原則満75歳以上）等が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域ボランティアが訪問し、安否確認と孤独解消を図る。	区社協	訪問世帯数・訪問員数	継続	1,258世帯 281人	1,208世帯 273人	1,198世帯 267人	安否の確認と孤独感の解消を図ることを目的に、乳酸菌飲料（5回）、ごみ袋（1回）、お元気通信（5回）子ども絵手紙（1回）をお届けした。継続実施する。	
⑤	おせち料理配食事業の実施	友愛訪問事業対象者にあたたかい気持ちで新年を迎えてもらうため、地域ボランティアがおせち料理を配食し、声かけを行う。	区社協	配食数	継続	1,311食	1,261食	1,220食	例年通り実施したが、物価高によるおせち料理代の高騰、おせち作成・配達業者の撤退等、事業継続に向け多くの課題がある。	
⑥	地区民生委員児童委員協議会との連携	毎月各地区的定例会に出席し、情報交換を密にし、連携した個別支援、地域支援を進める。	区社協	各地区定例会への参加率	継続	95%	94%	88%	例年通り、各地区定例会に地区担当者が出席した。定例会が研修を兼ねるケースや日程の重複により参加できない月があった。	
(2) 避難行動要支援者への支援体制を確立しましょう										
①	避難行動要支援者名簿登録制度	高齢者、障がい者、要介護者など災害時に自力で避難できない人などを対象に名簿を作成し、地域の自主防災組織などに配付し、災害時に地域で支援する体制を確立する。	健康福祉課 総務課	登録者数	継続	4,492人	4,583人	4,485人	独居高齢者などは、入退院の際に削除・再登録漏れが生じる恐れがある。	
②	自主防災組織	地域の住民の、「自分たちのまちは自分たちの手で守る」という共助の精神に基づき、地域の防災活動の拠点として結成される。	総務課	組織数・組織率	継続	124団体 94.7%	124団体 94.3%	124団体 94.3%	R5年度：新規結成自治会があったため、結成率は減少した。 R6年度の新規結成はなし	
③	「きらりん救急情報キット」配付による緊急時・災害時の支援	高齢者や健康上不安を抱える方の安心・安全を守るために、かかりつけ医や緊急連絡先等の情報を保管するキットを配付し、緊急時・災害時に備える取り組みを進める。	区社協	登録者世帯・利用者数	継続	7,482人	7,707人	7,795人	例年通り実施。6回の出前講座での事業周知他により、新規313人の利用申し込み。配付者に対する情報更新の促し、救急機関への事業周知、効果検証等の課題がある。	

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(3) 地域で防災・防犯・交通安全対策を進めましょう										
①	自主防災組織結成・育成の支援（自主防災組織結成助成）	自主防災組織が結成され、結成の届出後1年以内に自主的な防災訓練を実施した場合に助成を行う。	総務課	件数	継続	0件	0件	0件	令和6年度は自主防災組織の新規立ち上げがなかったため。	
②	防災訓練の実施	自主防災組織が自主的に実施する防災訓練	総務課	件数	継続	56件	85件	87件	コロナ禍の緩和以後増加傾向にある。	
③	防災訓練への支援（自主防災組織活動助成金）	自主防災組織が実施する防災訓練に必要な防災資機材の購入等経費の一部を助成する。	総務課	件数	継続	51件	62件	68件	コロナ禍の緩和以後増加傾向にある。	
④	防災講座の開催	避難場所や避難のしかた、地形などの特性、日ごろからの備えなどについて、市の職員が講師となり講座を行う。	総務課	開催回数	継続	22件	32件	38件	座学や体験などを通じて、防災への理解を深めてもらっている。能登半島地震の影響もあり、初めて受講する団体も増えた。	
⑤	避難所運営体制検討会の開催	平常時から、避難所ごとに『避難所運営マニュアル』の作成や運営方法などについて、あらかじめ共通認識を持つとともに、顔の見える協力体制づくりを行う。	総務課	開催回数	継続	1回	1回	1回	能登半島地震をうけ、避難所の緊急避難時の施設のルールを確認し、チェックシートを作成した。	
⑥	防犯ボランティアネットワーク事業	各地域において防犯バトロールなどの防犯活動に取り組んでいるボランティア団体等のネットワーク形成、地域同士の情報共有・連携、活動支援を図る。	総務課	登録団体数	継続	48団体	49団体	50団体	令和6年度の新規登録はなし。	
⑦	地域安全マップの作成	犯罪が起こりやすい危険な場所を地図にまとめ、子ども自身の危険予測や危険回避能力を高めるとともに、作製に関わる大人と地域の防犯力を高める。	総務課	実施団体数	継続	2団体3チーム	2団体	2団体	中野山コミ協と江南小学校でマップを作成した。中野山コミ協はオゴー産業主催のコンテストに応募した。（入選なし）	
⑧	交通安全教室の実施	幼稚園・保育園の児童や小学生、高齢者等を対象に交通安全教室を実施し、安全な交通ルールの啓発を行うことで、事故のない安心安全な暮らしを目指す。	総務課	実施回数・参加人数	継続	実施回数 115回 参加人数 4,829人	実施回数 124回 参加人数 4,858人	実施回数 121回 参加人数 4,815人	毎年度計画的に教室を実施している。	
⑨	防犯灯設置補助金	自治会・町内会などが自主的に設置管理する防犯灯を対象に設置費及び電気料の一部を補助する。	地域課	件数	継続	81件	57件	82件	・令和6年度末時点で防犯灯全体の98.7%がLED化されている。 ・経年劣化による取替え件数が横ばいとなっている。	
⑩	地域活動補助金【防災・防犯】	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOが行う地域課題の解決を図る活動などに対して補助金を交付する。	地域課	件数	継続	10件	9件	8件	これまで同様に多くの団体から申請を受けている。	
⑪	災害ボランティア講座	東区で災害が発生した際に、区社協が中心となり様々な団体と連携して災害ボランティアセンターを運営するため、関係機関と災害ボランティア講座を開催する。	区社協	開催回数・参加者数	継続	災害ボランティアセンター研修(中央区社協共催) 1回 136名	開催なし	開催なし		

基本目標4 だれもが集まる機会・場づくり

◎誰もがいつでも気軽に立ち寄れる交流の場をつくり、地域で楽しく交流できる場の確保と活動参加の促進に努めます。

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(1) 気軽に立ち寄り、交流できる「場」をつくりましょう										
①	学校開放事業	生涯スポーツ・生涯学習の振興を図るため、学校教育に支障がない範囲で市立学校の施設を開放する。	地域課	実施校数・利用者数	継続	21校 4,406人	21校 4,147人	21校 4,019人	市民の体育活動や地域活動の推進、子どもの健全育成を図ることができた。	
②	コミュニティ活動設備整備補助金	地域活動に必要な高額設備（備品）の整備について費用の一部を補助する。	地域課	件数	継続	13件	16件	8件	市全体での申請件数が増加（東区は横ばい）した結果、採択件数が減少している。	
③	「地域の茶の間」の立ち上げ・運営支援 <再掲>	地域に住む子どもから大人まで誰もが気軽に集まって過ごすことができる居場所「地域の茶の間」の普及を図るために助成を行う。	区社協	助成件数	継続	月1タイプ：53件 月2タイプ：8件 社協助成のみ：13件	月1タイプ：50件 月2タイプ：8件 社協助成のみ：13件	月1タイプ：50件 月2タイプ：7件 社協助成のみ：16件	地域の茶の間の新規立ち上げや、活動タイプの変更についての相談支援を実施。今後も継続する。	
④		地域に住む子どもから大人まで誰もが気軽に集まって過ごすことができる居場所「地域の茶の間」の普及を図るために助成を行う。	健康福祉課	助成件数	継続	週1タイプ：13件	週1タイプ：13件	週1タイプ：15件	新規立ち上げ：2件	
⑤		「地域の茶の間」の立ち上げ、運営を支援するため、情報提供や交流会、研修会等を行う。	区社協	参加者数	継続	地域の居場所勉強会 3回 117人	地域の居場所交流会 1回 93人	地域の居場所交流会 1回 93人	認知症の人も安心して参加できる場づくりをテーマに実施した。その時々のテーマを設定し継続実施していく。	
(2) 地域でふれあい、交流できる機会を増やしましょう										
①	老人憩の家及び老人憩のフロア	高齢者に対し教養の向上やレクリエーション等のための場を提供し、高齢者の心身の健康の増進を図る。	健康福祉課	利用者数	継続	59,016人	58,575人	60,158人	光熱費、人件費の高騰により、施設の維持・管理に支障を来す恐れがある。 施設の老朽化により、工事・修繕に経費と時間を要し、風呂を休止する場合もある。	
②	地域活動補助金【イベント等】	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOが行う地域課題の解決を図る活動などに対して補助金を交付する。	地域課	件数	継続	13件	12件	14件	地域の世代間交流を目的としたイベントが多く開催されている。	
③	地域ふれあい事業への支援	地域住民による助け合い、支えあう地域づくりを推進するため、住民同士の交流を目的に行われる活動に対して助成を行なう。	区社協	助成件数	継続	・地域ふれあい事業 29件 ・福祉施設地域ふれあい事業 9件	・地域ふれあい事業 74件 ・福祉施設地域ふれあい事業 9件	・地域ふれあい事業 78件 ・福祉施設地域ふれあい事業 7件	コロナ感染症が落ち着いてきたこともあり、助成件数は昨年度から増加。対面によるより密な交流が図れる内容となってきている。引き続き事業の周知を図る。	
④	歳末たすけあい事業への支援	歳末時期に、地域住民や福祉関係者が協働で行う交流会事業に助成を行う。	区社協	助成件数	継続	・地域歳末たすけあい事業 35件 ・福祉施設歳末たすけあい事業 4件	・地域歳末たすけあい事業 52件 ・福祉施設歳末たすけあい事業 6件	・地域歳末たすけあい事業 60件 ・福祉施設歳末たすけあい事業 11件	コロナ感染症が落ち着いてきたこともあり、福祉施設での歳末事業の助成件数が増加している。引き続き事業の周知を図る。	
⑤	敬老祝会助成事業	9月～10月に実施する、高齢者（75歳以上）の長寿をお祝いし、地域交流を目的とした敬老祝会に対し一部助成を行う。	健康福祉課	助成件数	継続	16件	33件	30件	事業の周知について、区だより、市ホームページ以外の周知方法や周知時期の検討が必要	

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(3)地域の学校や、いろいろな施設・団体と交流しましょう										
①	「ぶちショップ東区」の実施	障がい者施設の自主製品の販売を通じた交流	健康福祉課	参加団体数	継続	11団体	11団体	11団体		
②	思春期健康教育	思春期の子どもを対象に、「思春期の心と身体の変化」、「性」、「生命」、「性感染症予防」などをテーマに健康教育を実施する。	健康福祉課	実施校数・参加者数	継続	小学校：1校 31人 中学校：8校 1,178人	小学校：1校 21人 中学校：8校 1,369人 高校：2校 520人 特別支援学校：1校 70人	小学校：1校 67人 中学校：8校 1,719人 高校：2校 700人 特別支援学校：2校 22人	令和5年度より市助産師会に委託し、高校および特別支援学校へも拡大して実施している。	
③	地域活動補助金【教育】	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOが行う地域課題の解決を図る活動などに対して補助金を交付する。	地域課	件数	継続	1件	4件	4件	令和5・6年度は同一団体からの申請を受け付けている。	
④	福祉教育・体験学習への協力	区内の小中学校等の総合学習の支援を通じ、障がい者、高齢者など地域に暮らすさまざまな状況にある人たちへの理解を深める活動を行う。	区社協	実施校数・参加者数	継続	11校（29回）2,567人 ・総合的な学習に関わる方との情報交換会開催なし	13校（35回）3,354人 ・総合的な学習に関わる方との情報交換会開催なし	13校（36回）3,090人 ・総合的な学習に関わる方との情報交換会開催なし	疑似体験学習による貧困的な福祉観の再生産とならないよう、福祉教育プログラムを改良し実践した。また、下山中学校福祉教育特別講演会として、東京パラリンピックでギター演奏した、川崎昭仁氏を招き、多くの感動と気づきを得る機会を得た。今年度も継続予定。	
⑤	ボランティア（個人・グループ）の交流事業の開催	ボランティア活動者、受け入れ団体と情報交換し、ボランティア活動のさらなる推進を図る。	区社協	実施回数・参加者数	継続	ボランティア、元気力アップ・サポーター、受け入れ施設交流会 1回 68名	ボランティア、元気力アップ・サポーター、受け入れ施設交流会 1回 74名	ボランティア、元気力アップ・サポーター、受け入れ施設交流会 1回 28名	例年どおり実施した。参加者数が減少・固定化しており、講座内容の工夫、参加の働きかけを図る必要がある。	
⑥	元気力アップサポーター受入れ施設への働きかけ	元気力アップサポーター受入れ施設の拡充と受入れ施設の情報交換会などを開催し、受入れ施設の支援を行う。	区社協	参加者数	継続	同上	同上	同上		

基本目標5 情報の提供と相談支援体制の充実

◎必要な人に必要な情報をわかりやすく提供するとともに、誰もが安心して相談や支援を受けることができる体制づくりに取り組みます。

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(1)必要な人に必要な情報が伝わる仕組みをつくりましょう										
①	区だより「わいわい東区」、ホームページによる情報提供	市民生活に役立つお知らせや地域の話題など身近な情報を東区だよりや区のホームページ、スペシャルサイトなどで発信する。	地域課	発行回数 ホームページアクセス数	継続	年24回 40,000部 386,836回	年24回 36,000部 674,753回	年24回 34,000部 655,145回	東区に関する様々な情報や魅力を適切な手段、方法で届けることができた。	
②	区だよりなどの点字版・音声版での提供	目の不自由な人で希望者を対象に、市報にいがた・東区だよりの点字版または記事を録音した音声版を郵送する。	地域課	発行回数	継続	年24回（月2回）	年24回（月2回）	年24回（月2回）	東区に関する様々な情報や魅力を適切な手段、方法で届けることができた。	
③	子育てガイドブック「ままっぷ」の発行	東区の子育て中の保護者を編集委員とし、子育てに関する情報冊子を発行する。	健康福祉課	発行部数	継続	6,000部	6,000部	6,000部		
④	依頼健康教育＜再掲＞	健康づくりや生活習慣病の予防、また歯の健康を守るために日常生活上の心得や食生活のあり方等について、保健師、栄養士などによる講習会を開催する。	健康福祉課	回数・延人数	継続	35回 479人	35回 598人	42回 697人	お茶の間、コミュニティ協議会からの依頼が増加している。	
⑤	防災講座の開催＜再掲＞	避難場所や避難のしかた、地形などの特性、日ごろからの備えなどについて、市の職員が講師となり講座を行う。	総務課	開催回数	継続	22件	32件	38件	座学や体験などを通じて、防災への理解を深めてもらっている。能登半島地震の影響もあり、初めて受講する団体も増えた。	
⑥	地域活動補助金【広報紙発行】	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOが行う地域課題の解決を図る活動などに対して補助金を交付する。	地域課	件数	継続	3件	4件	5件	コミ協広報誌を継続して発行する事で、地域全体に対し活動の周知を行っている。	
⑦	機関紙「東区社協だより」による情報発信	東区社会福祉協議会の事業内容やボランティア情報、地域活動の情報を広く周知する。	区社協	発行回数	継続	年2回	発行なし	年1回	今後は紙媒体の広報紙の発行は行わず、SNS・YouTube等による情報発信に移行する。	
⑧	区社協パンフレットの配付	東区社会福祉協議会の認知度、事業への理解を高め、必要な方へ必要な支援が結びつくよう、広くパンフレットを配布する。	区社協	配布箇所	継続	窓口等で配布	窓口等で配布	窓口等で配布	今後パンフレットの更新・発行は行わず、SNS・YouTube等による情報発信に移行する。	
⑨	ホームページによる情報提供	東区社会福祉協議会の事業内容やボランティア情報、地域活動の情報をホームページを活用し、タイムリーに発信する。	区社協	ホームページ配信アップ数	増	24件	13件	14件	今後ホームページ上での情報発信から、SNS・YouTube等による情報発信に移行する。	

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(2) 身近な地域での相談支援体制をつくりましょう										
①	地域包括支援センターの運営・周知	高齢者がいつまでも住み慣れた地域で生活することができるよう、地域にある様々な資源（保健・医療・福祉）などを活用し、多面的な支援を行う。	健康福祉課	相談件数	継続	27,089件	26,761件	25,108件		
②	成年後見制度の周知・利用支援	認知症、知的障がい、精神障がいなどによって判断能力が十分ではない人を保護し支援する。成年後見制度を利用する場合に必要な費用負担が困難な人に費用の一部を助成する。	健康福祉課	利用者数	継続	障がい：市長申立2件 助成利用25件 高齢：市長申立26件 助成利用124件	障がい：市長申立0件 助成利用26件 高齢：市長申立12件 助成利用128件	障がい：市長申立5件 助成利用36件 高齢：市長申立7件 助成利用156件		
③	東区地域自立支援協議会の開催	東区における障がい福祉に係る地域課題等を協議する。	健康福祉課	開催回数	継続	4回	4回	4回		
④	生活保護受給者の自立に向けた就労支援プログラム	ワークポート新潟と連携し、経済的援助を必要とする人の自立支援に向けた就労を支援する。	保護課	参加率(H27～R3～)	30%以上(R3～)	30.8%	36.8%	31.9%	当課にワークポートが併設されていることで、就労支援の連携が円滑に行われ、令和6年度も目標の参加率を上回ることができた。	
⑤	学習習慣支援プログラム（子どもの学習・生活支援事業）	社会福祉協議会と連携し、低所得世帯の中学生の学力向上を支援する。	保護課	参加者数	継続(R3から)	12人	12人	8人	生活保護世帯の中学生の参加者数は減少したが、ひとり親・非課税世帯等を加えた全体の参加者数は増加している(R5:46人、R6:51人)。	
⑥	日常生活自立支援事業の実施	認知症高齢者や知的障がい、精神障がいのある方の福祉サービス利用手続き、金銭管理、書類の預かり支援を通して、地域生活を継続できるようサポートする。	区社協	利用者数・延べ支援回数	継続	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者 計80名 総支援回数1,264回	認知症高齢者 23人 知的障がい者 24人 精神障がい者 25人 総支援回数 923回	認知症高齢者 16人 知的障がい者 23人 精神障がい者 20人 総支援回数 797回	利用者数の減少に伴い、総支援回数も減少しているが、他区と比較し、利用者数に対する支援員数が少ない状況は変わらない。支援員の要請が課題である。	
⑦	生活福祉資金の相談・貸付	低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯などで金融機関や他制度からの借り入れが困難な世帯に貸付相談を行う。	区社協	新規貸付・相談件数	継続	相談 1,345件 申請 249件	相談 642件 申請 31件	相談 505件 申請 9件	コロナ感染症が落ち着いてきたこともあり、相談件数、申請件数ともに減少してきている。	
⑧	関係機関・福祉専門職とのネットワークづくり	多問題世帯への支援など専門職が連携してよりよい支援ができるようネットワークづくりを進める。	区社協	実施内容	継続	ネットワーク会議開催 1回	開催なし	開催なし	個々のケースへの対応によるネットワークづくりを進めている。	
⑨	CSWによる情報の提供と相談支援	地域住民や専門職との連携をすすめ、個別課題、地域課題の解決に向けた取り組みを進める。	区社協	相談件数	継続	728件	590件	507件	例年どおり実施。引き続き関係機関との連携を図り、相談支援を実施する。	
⑩	歳末たすけあいフードボックス事業	生活困窮世帯やひとり親世帯等を対象に、支援の途切れがちな年末年始向けの食糧支援を実施する。	区社協	配布世帯数	継続	568世帯	実施なし	実施なし		